掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
CHUTOEN GENERAL MEDICAL CENTER

# きんもくせい

病院だより
vol.93
令和３年
２月号

## あなたも気を付けて！　寒さは大敵

# 国民の寝たきり原因第1位は「脳卒中」

▲ 手術中の脳神経外科医師の様子

２月。寒い日が続きますが、そんな冬に増える病気をご存知ですか？冬場はインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症だけではなく、脳卒中も増える季節と言われています。暖かい部屋から寒い部屋への移動など、温度の急な変化により血圧が大きく変動することで、体に悪影響を及ぼすことがあります。また、冬は水分の摂取が控え目になりがちです。知らず知らずのうちに脱水症になってしまうことで血管が詰まってしまうことも脳卒中の原因の一つとして考えられています。

今回は当院の脳血管疾患に対するスペシャリストチームである「脳神経外科」から「脳卒中」に焦点を当て、対策についてご紹介いたします。

また、今月の医療市民講座は脳神経外科と皮膚科です。ぜひご聴講ください。（※詳細は４ページ）

診療科から

# 脳卒中への基本的な対策

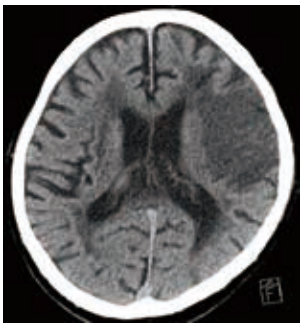
脳神経外科 診療部長　鳥飼（とりがい） 武司（たけし） 医師

## 脳卒中とは

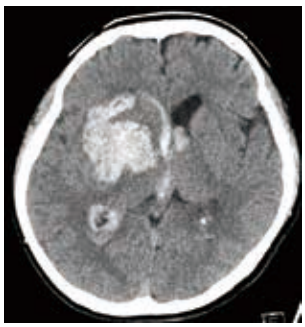
脳卒中とは脳の血管が詰まるか破れるかによって、脳組織がダメージを受ける病気で、脳梗塞（こうそく）、脳出血、くも膜下出血が含まれます。激しい頭痛、意識障害、麻痺（まひ）、呂律（ろれつ）不全などの症状が突然出現することが多く、予見することが困難です。

脳卒中は、国民の死亡原因の第4位を占め、さらに寝たきり原因の第1位です。つまり、治療により救命することができたとしても、重篤（じゅうとく）な後遺症が残る危険性があります。

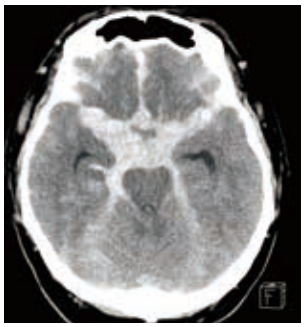
以下の写真は単純頭部CTです（MRIでは見え方が全く異なります）。



▲ 脳梗塞
右側の黒い部分が梗塞



▲ 脳出血
左側の白い部分が出血



▲ くも膜下出血
ヒトデ状に白く見える部分が出血

## 脳卒中対策を推進するために

今後の高齢者人口の増加に伴い、脳卒中患者のさらなる増加が予想されています。そこで、国を挙げて脳卒中対策に取り組むため、2019年12月1日に「脳卒中・循環器病対策基本法」が施行されました。脳卒中・循環器病対策基本法は、単に平均寿命の延伸を目指すのではなく、健康寿命を伸ばし、生活の質を向上させることを目標にしています。基本的施策として、予防の推進、発症時の受け入れ体制の整備、また、後遺症を有する患者の生活の質を向上させ、患者支援のため保健・医療・福祉サービスを提供する機関の体制の整備などが挙げられます。これらの施策は同時に、医療費・介護費の抑制にもつながります。

## 脳卒中の対策

脳卒中対策は予防が第一です。そして、発症後の1秒でも早い専門医療機関での治療が死亡率を低下させ、後遺症を軽減することにつながります。

予防には、健康的な食生活と運動を維持しつつ、高血圧症、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病を厳重に管理することが重要です。くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤（りゅう）を早期発見するためには脳ドックも有効です。脳卒中・循環器病対策基本法とあるように、脳卒中と循環器病は密接な関連がありますので、脳梗塞の原因となる心房細動という不整脈があるかどうかを確認することも重要です。

脳卒中を発症した場合には、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血の病型（病気の分類）それぞれに対して、早期に集中的な治療を受けることが重要であり、後遺症の軽減につながります。

## 新型コロナウイルス感染症の拡大

新型コロナウイルス感染症は、肺炎を引き起こすだけではなく、他臓器にも病気を起こすことが報告され、脳卒中に関しては、新型コロナウイルス感染症の患者さまの約１％に発症するといわれています。脳卒中の既往がある場合は、より感染しやすく、感染した場合に重症になりやすい傾向があります。また、感染に伴う嗅覚障害や頭痛などの神経症状がいつまで続くのかはわかっていません。

入院中は感染予防のため面会が制限されています。脳卒中という突然発症し、重篤化しやすい病気と闘うだけではなく、その不安の中で支えとなる家族や友人に直接会えないという孤独とも向き合わなければなりません。

当院では新型コロナウイルス感染症流行中でも安全に脳卒中の治療を受けられるように努めています。感染を警戒して受診を控えることなく、これまで通り、脳卒中を疑ったら（激しい頭痛、意識障害、麻痺、呂律不全などの症状）すぐに病院を受診してください。

# クラップ・フォー・オール
# ～みんなで支え合い、一緒に立ち向かいましょう！～

12月16日（水）、当院で「クラップ・フォー・オール」を行いました。

世界的に「クラップ・フォー・ケアラーズ」（一斉に拍手をし、新型コロナウイルス感染症の感染防止に最前線で闘う医療従事者を称える取り組み）が広がっていますが、当院が行った「クラップ・フォー・オール」はこの逆バージョンです。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、未知のウイルスへの恐怖、医療従事者への差別、風評被害に苦しむ中、当院を支えてくれたのは、地域の皆さまの温かいご支援とご声援でした。また、共に新型コロナウイルスの最前線で闘う医療従事者を報道等で拝見し、勇気をいただきました。

動画はこちら

新型コロナウイルスに立ち向かっているのは、医療従事者だけではありません。全ての人です。コロナ感染者も市民も医療従事者もみんな仲間です。仲間だからこそ、苦しいときは支え合い困難に一緒に立ち向かいましょう！

地域の皆さま、医療機関をはじめとする全ての皆さまへ感謝の気持ちを込めて。

## 看護部通信

### 『小児特有の処置や技術、看護に磨きをかけています』

4階東病棟は小児科、耳鼻いんこう科、循環器内科の混合病棟ですが、小児科がメインの病棟です。

小児科病棟では安全に検査が行えるよう患児を検査前に眠らせて検査に送り出したり、重症心身障害児の急変対応、点滴の針が手を動かしても抜けないように固定するなど小児特有の処置や技術があります。そのため、今までの手技の見直しや勉強会を行い、看護師一人一人の看護の質向上に努めています。

▲ 季節毎にイベントを行っています。これは昨年のクリスマスの様子です。
看護師はもちろん、医師とも協力しイベントを盛り上げています。

患児にとって入院生活は、普段と全く違った生活になり、ストレスや身体的負担がとても大きいです。看護師は、患児・家族の一番近くにいるため、患児はもちろんですが、ご家族の身体的・精神的サポートも出来るよう日々関わらせていただいています。

子どもから見ると病院は痛いことをされる“怖い”ところです。入院される子どもたちが少しでも笑顔になってくれるようこれからも病棟スタッフと共に取り組んでいきます。

4階東病棟　佐藤 真由奈

# お知らせ －information－

## 睡眠外来の受診には紹介状が必要です

1月5日（火）から、睡眠外来への受診は紹介状が必要になりました。
睡眠外来の受診を希望される方は、必ず紹介状をお持ちのうえ、ご予約をお願いいたします。
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 第33回医療市民講座のご案内

皆さまの安全を第一に考え、感染防止対策を講じたうえで細心の注意を払い開催いたします。
※新型コロナウイルス感染拡大等により中止する場合は、お申し込みされた方へ直接お知らせいたします。

**定員100名（予約制・先着順）**　**入場料無料**

◆日　時　令和３年２月27日（土）午前10時～正午（受付9時30分～）

◆場　所　袋井市教育会館４階大会議室（袋井市新屋1-2-1）

◆演　題　①「正しく知ろう皮膚がん」
講師：大塚 正樹 医師（皮膚科診療部長）
②「脳卒中と脳神経外科～脳卒中はFASTとTime is brain～」
講師：市橋 鋭一 医師（副院長 兼 脳神経外科統括診療部長）

◆申込み　２月22日（月）までにホームページ専用フォーム、または
問い合わせ先へ電話、FAXのいずれかにて。
申込用紙を院内専用BOXにお入れいただいても申し込みできます。
申込用紙は院内ほか、市役所等で配布しています。

詳しくは
病院ホームページを
ご確認ください。

◆問い合わせ　経営戦略室　電話：0537-21-5555(代)　FAX:0537-28-8971(代)

※最新情報や申込方法など、詳しくは病院ホームページをご確認ください。

## ● 医師異動のお知らせ ●

**1月1日付 採用**

消化器内科　　松葉（まつば） 朋彦（ともひこ）

よろしくお願いします

## 12月の診療実績

| 1日あたりの患者数 | |
|---|---|
| 入院 | 359人 |
| 外来 | 1,158人 |
| 紹介率 | 81.6% |
| 逆紹介率 | 99.4% |
| 病床利用率 | 71.7% |
| 平均在院日数 | 8.8日 |
| 手術件数 | 435件 |
| 救命救急センター受診者数 | 1,080人 |
| 救急搬送件数 | 431件 |

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ　https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/
過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。中東遠 検索
スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
TEL 0537-21-5555

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC2093 号